

# 森の学校「都市に暮らす幼児の保護者に向けた 幼児期の自然体験に関するセミナー」



## 開催にあたって

現在、子どもの自然体験不足、野外体験不足が、子どもの成長への大きな課題になっています。都市の子どもたちにとって、整地された硬い地面の公園や、マンションの敷地内が主な遊び場という地域環境は珍しくなく、自然と触れ合う機会が少ないまま育つ子どもが増えています。

NPO法人森の学校では、都市の子どもたちの自然体験型環境教育プログラムを年間を通して実施しています。自然と触れ合うことで豊かな感性を育み、野外で体を動かすことで健全な心身を育み、自然の中で自由に遊ぶことで豊かな創造性を育み、子どもたちの社会性、人間性を育てていきます。幼児を対象にしたプログラム参加者の保護者の方からは、

「ママ、虫を捕まえて」と言っていたのが、自分で捕まえるようになりました」

「葉っぱや虫、花、鳥の声、ただ歩いているだけで興味がつきません。都会でもいろんな発見をして楽しむことを教えていただきました」

など、お子様や保護者様ご自身に様々な変化があったとお声をいただいております。活動の効果と必要性を強く感じています。そして、保護者の方に幼児期の自然体験・野外体験の大切さを理解していただき、都市生活の中で少し違う視点を取り入れるだけで自然体験の日常化が可能であり、そのことにより子どもの成長に大きな効果が期待できると考えています。

本セミナーが、毎日歩いている道端の植物や昆虫に注目してみる、公園に植えてある木の皮や葉に触れてみるなど、日常的に自然と触れ合う機会が増えるきっかけとなることを願っています。

NPO法人 森の学校

## 森の学校の「自然体験型環境教育プログラム」のご紹介

### ふくるる 森のようちえん

五感を大切に、自然の中で子どもたちの豊かな感性を育みます

ペアークス (親子)

対象者 4歳～6歳のお子さまとその保護者 20名程/回  
日程 秋コース 4回 9/6(水) 10/4(水) 11/1(水) 12/6(水)  
冬コース 2回 1/17(水) 2/7(水)

集合/ 14:00 新木場駅  
解散 16:30 夢の島公園 ※回により多少変更の可能性あり

キッズくすぶ (子ども向け)

対象者 4歳～6歳のお子さま 15名程/回  
日程 秋コース 4回 9/20(水) 10/18(水) 11/15(水) 12/20(水)  
冬コース 2回 1/24(水) 2/21(水)

集合/ 千代橋公園(銀座座)  
解散 13:30 / 17:30

### ハックルベラーズらぶ 東京キッズ 2017

「子どもは未来を拓く天才だ!」好奇心をひきだし子どもを大きく成長させます

対象者 小学1年生～小学4年生 20名程/回 (最少参加人数5名)  
日程 秋コース 4回 9/17(日) 10/7(土) 11/12(日) 12/16(土)  
冬コース 2回 1/20(土) 2/18(日)

集合/ 9月、10月、2月 千代橋公園(銀座座) 9:00 / 17:15 ※2月は多少変更の可能性あり  
解散 11月、12月、1月 新木場駅 10:30 / 16:30



講師 小澤紀美子氏  
東京学芸大学名誉教授  
東海大学大学院客員教授  
こども環境学会元会長

第1回  
10月17日  
(火)

幼児期は「知識や知恵を生み出す  
種子」を育む土壌を耕すとき

環境教育

受付9:30から 開始09:45 終了11:45  
江東区文化センター 第4、第5研修室  
(〒135-0016 東京都江東区東陽4丁目11-3)  
後援:江東区教育委員会



講師 菅井啓之氏  
京都光華女子大学  
こども教育学部 教授

第2回  
11月5日  
(日)

自然観察は人間の中核を創る  
自然教育

受付10:15から 開始10:30 終了13:10  
千代田区立日比谷図書館文化館 スタジオプラス(小ホール)  
(〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4)  
後援:千代田区教育委員会

※午後「子どもの自然体験活動のリーダー研修会」開催!

日本環境教育学会の会長を経て、子どもたちの意欲や探究心を引き出しながら展開する「環境教育」の意義、進め方などを保育者や教育関係者に広めている。特に、子どもの遊びや自然体験が子どもの発達や情動にとって重要なことであり、身近な地域で保護者と子どもが共に育ち・育ち合う関係構築をすすめ、「まち」には子どもの育ち・学びの要素がふれている、と考えている。

小学校教諭28年間の後、9年間京都ノートルダム女子大心理学部教授を経て現職。生き方に結びつく自然教育・自然観察の在り方を研究している。1985年より現在まで毎月1回、自然観察会を行う。小学校理科の教科書執筆(啓林館)。著書に『もの見方を育む自然観察入門』著(文溪堂)、『美しい心を育む自然観察』共著(文溪堂)、『心のさんぽ』共著(文溪堂)、『いのちに出会う保育の自然さんぽ』共著(ひかりのくに)がある。



講師 上遠恵子氏  
レイチェル・カーソン日本協会会長  
エッセイスト

第3回  
11月21日  
(火)

子どもと一緒に小さな  
自然を見つけよう

子どもの感性

「沈黙の春」に触発されてレイチェル・カーソンの研究をライフワークとする。訳書に『レイチェル・カーソン』(新潮社)、『レイチェル—沈黙の春の生涯』(東京書籍)。カーソンの著作、『潮風の下で』(岩波現代文庫)、『海辺』(平河出版社) (平凡社ライブラリー)、『センス オブ ワンダー』(新潮社)など。著書『レイチェル・カーソンの世界へ』(かもがわ出版)、『レイチェル・カーソン いまに生きる言葉』(翔泳社)。エッセイストとして執筆と講演活動を行う。受付9:30から 開始9:45 終了11:45  
中央区立環境情報センター  
(〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン 6階)  
協力:レイチェル・カーソン日本協会



講師 磯部錦司氏  
福山女学館大学 教育学部  
子ども発達学科 教授

第4回  
11月26日  
(日)

自然・アート  
-子どもが命と会話するとき-

造形教育

美術教育研究者、作家、実践者の三者の立場から、生命観・自然観と「アートを通した子どもの学び」について独自の視点で追求している。主な活動に、デンマーク、ドイツ、フランス、チェコ、オーストラリア、タイ等と日本における子どもたちとの「生命(いのち)の会話プロジェクト」など。主な著書に、『自然・子ども・アート—いのちの会話』(フレーベル館)、『保育のなかのアート: プロジェクト・アプローチの実践から』(小学館)、『子どもが絵を描くとき』(一藝社)等。受付9:30から 開始9:45 終了11:45  
ティアラこうとう 大会議室 (〒135-0002 東京都江東区住吉2-28-36)  
後援:江東区教育委員会  
※午後「子どもの自然体験活動のリーダー研修会」開催!



講師 平野吉直氏  
信州大学 理事 副学長

第5回  
12月2日  
(土)

子どもの心と体をはぐくむ  
自然体験活動

野外教育

国立那須甲子少年自然の家、文部省生涯学習局青少年教育課を経て現職。研究分野は、野外教育。研究課題は、野外教育活動が子どもに及ぼす教育効果の分析、野外教育プログラムの評価研究、野外教育・生涯学習・生涯スポーツに関する政策研究など。『野外教育入門—やさしくわかる自然体験活動』(小学館)、『幼児期に豊富な自然体験活動をした児童に関する研究』など著書、論文多数。受付9:30から 開始9:45 終了12:15  
文京区シビックホール 会議室  
(〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21 文京シビックセンター3F)  
後援:文京区教育委員会  
※午後「子どもの自然体験活動のリーダー研修会」開催!

## 「子どもの自然体験活動のリーダー研修会」参加者募集!

自然体験活動のリーダーや指導者として役立つ考え方や知識などを学びます。

(日 程) セミナー開催日の午後 15時～16時に終了(回によって異なります) 11月5日(日)、11月26日(日)、12月2日(土)  
初心者、未経験者歓迎!

参加費無料 事前申込み制

お申し込み 森の学校ホームページよりお申し込みください。 **NPO 森の学校** **検索** 「森の学校新聞(無料)」(プログラム案内など)の受付も行っていきます。

募集に合わせて「申し込みフォーム」を制作します。完成までは ①お名前(よみ) ②お子様(いる(年少・年中・年長・学年)、いない) ③応募回 ④ご住所 ⑤TEL ⑥動機・期待すること、などを明記してE-MAILでお申し込みください。

お問い合わせ

25th  
1999



NPO法人 森の学校

NPO法人森の学校は1993年に開校。「いのちのつながり」をテーマに、里山の木造校舎(廃校)とそのまわりの自然を主なフィールドに、自然の中で遊び学ぶ体験の中から、生きる知恵と力を育む自然学校です。

特定非営利活動法人(NPO法人)森の学校事務局 〒104-0061 東京都中央区銀座七丁目18-13-203

TEL:03-5565-1144 (平日 11:00～18:00) FAX:03-5565-1199 E-MAIL: morinogakkou@kankyoinfo WEB: www.morinogakkou.jp

